



慶應義塾大学ビジネススクール

パロアルト・デザイン・オフィス株式会社

オーダー・メイド受注の建築設計事務所

パロアルト・デザイン・オフィス株式会社(PDO社)は、米国西海岸シリコンバレーの中心地パロアルト市にある建築設計会社である。日系三世の建築家・ケン釣島氏が、10年ほど前に大手の設計事務所から独立して起業した。オフィスは華やかなユニバーシティ通りの外れにあり、クリーム色のしゃれた建物の中で総勢30人ばかりの社員が働いていた。

パロアルトは最近の好景気に沸き立ち、ベンチャーの立ち上げで成功した人たちがこの近辺に不動産を購入し、個性的な家を盛んに建てていた。

釣島氏の手がける建築は決して派手なものではなく、アッパー・ミドル・クラス(上流の中)向けの邸宅や、低層のビルの設計が主な仕事だった。しかし比較的リーズナブルな予算の割に、仕事が良心的かつ個性的だという評判だった。

釣島氏も施主の嗜好に合わせながら、なお新しいティストのデザインに挑戦したり、自分のクリエイティビティを發揮することができるこの仕事に、満足を感じていた。業績が良い割には、資金はあまりかからず、こじんまりとした快適なオフィスとコンピュータさえあれば、のびのびと自分のペースで仕事をすることができた。

釣島氏のこうした創造性を重んじる行き方に共鳴する若い建築家達が、 PDO社に集まってきていた。 PDO社の株式の70%は釣島氏が持っていたが、残りは彼の支援者や一部の社員が持っていた。

大手デベロッパーからの買収オファー

2000年の4月、釣島氏は昔設計事務所で同僚だったテッドから、電話をもらった。テッドは電話でこう切り出した。

「君の会社を、今ほくのいるランドスケープ・アーキテクチャー(LA)社に売つて、LA社の傘下で仕事をしてみないか?」

テッドによれば、LA社は概ね次のような内容の会社だった。LA社は、もとも

このケースは、慶應義塾大学ビジネススクール・山根節がクラス討議の資料とするために作成した。
(2000年7月)